

愛&ハート

■愛の家

- さあ、夏の終わりが見えてきました!!
- 熱中症に注意をしよう!
- 早いもので…33年。

■あいハート須磨

- 2025年 七夕
- あいハート須磨開設30周年事業実施に向けて

■あいハート離宮前

- あいハート離宮前「納涼祭」

◆脳リハWebサイトリニューアル!

◆次世代に向けた一歩

◆御寄附について

2025 September

278号

デイサービス
利用者さんの
作品



愛の家

さあ、夏の終わりが
見えてきました!!

■工房みさきリーダー
城間 陽子

工房みさきでは、恒例の夏まつりが8月21日（木）に開催されました。

開催に至るまでご利用者の皆さんにもお手伝いいただき、スタンプリーカー作りなど、本番に向けて着々と準備を進めてきました。

夏祭りの前身は、工房みさきが旧さくら園から事業を引き継いだ2003年の開所年から開催してきた「夕涼み会」です。夕涼み



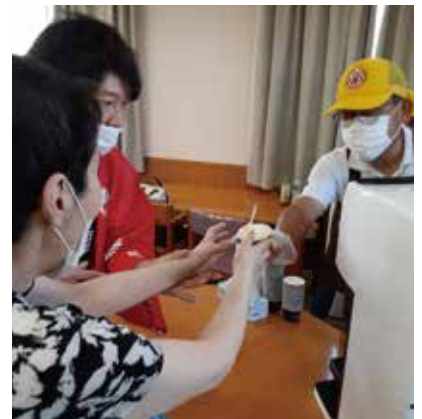
の全てのご利用者が「楽しい」「美味しい」と感じられる会を目指し、安全に、ゆっくりと参加できるよう工夫を重ねました。

夏まつり当日は、「楽しみ!」「ドキドキする!」

会は岬町内の民生委員や小学校、行政、近隣地区の事業所、N・T・Tの皆さんのボランティアや参加者に支えられ、地域の夏の風物詩として親しまれてきました。しかし、2020年からの新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開催は自粛されていました。

コロナ禍が明け、夕涼み会の再開に向けて準備を進める中で、「会の主役は利用者さんだった」ということに立ち返り、2019年第17回をもって夕涼み会は終了しました。

2023年、新たに「夏まつり」と名称を改め、開催場所も愛の家に変更。かがやき（成人部）、きぼう（児童部）、工房みさき（通所部）



「イチゴ味食べたい!」など、皆さんの期待の声が聞かれる中、職員も



準備の成果を存分に発揮し、本番を無事に終えることができました。

今年の夏まつりも、皆さんと一緒に楽しい時間を過ごすことができましたし、同時に夏が終わりに近づいていることを感じる一日でした。

熱中症に
注意をしよう!

■看護師 平部 康人

今年の近畿地方の梅雨明けの発表は6月27日であり、1951

年の統計開始以降、最も早い梅雨明けとなりました。それ以降は一気に夏モードに突入したような気温急上昇が見られ真夏日・猛暑日が続いております。先日（7月24日）には北海道の北見市で最高気温が39℃、帯広市で38.2℃を観測しました。南国出身の私としては北海道の道東地方は雪国のイメージで、夏は涼しく過ごせる所だと思っていただけにとても衝撃を受けました。また、8月に入ってから全国各地で40℃以上を連日観測するなど、異常な暑さとの戦いでこの先の夏季はどうなっていくのか心配でなりません。

この時期に注意をしないといけないのが「熱中症」です。熱中症疑いによる救急搬送のニュースも連日流れております。7月12日にはN・T・Tふれあいコンサート



が開催されましたが、体調不良者もなく無事に終えることができました。

いつでもどこでも誰でも条件次第で熱中症にかかる危険性があります。正しい予防方法を知り、普段から気をつけることで防ぐことができると言われております。

① こまめな水分補給
② エアコンで室温をこまめに調整

③ 気温室温にあった服装調整
④ 日差しを避ける（場合によっては外出を控える）

⑤ 適度な運動、十分な休息睡眠とバランスの良い食事

以上が基本的な予防対策法です。利用者さんが快適にこの夏季を過ごせるように、基本的予防対策や暑さに対する工夫を施設全体として取り組んでいきたいと思っています。

また、愛の家に入所されている方の中には、「暑い」「喉が渴いた」「気分が悪い」など状態や気分を自ら訴えることが難しい方もおられるので支援スタッフ、看護ス

タッフは常に利用者さんの体調の変化に目を配り支援・観察に努めていきたいと思っています。

まだしばらくは暑い日が続くかと思われまので、皆様も体調には十分お気をつけ、この夏を乗り越えていきましよう。

早いもので…33年。

◆みらい相談員 片岡 正年

厳しい暑さが続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

平素より、全電通近畿社会福祉事業団および愛の家の活動に温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

愛の家「みらい」で計画相談員を担っております片岡です。

年月が経つのは早いもので愛の家に入社して33年5カ月が経ちました。入社当時は、淡輪学園愛の家と呼ばれており、昭和45年建造の建物でした。それから時が経ち平成13年に現在の建物になり、更に現在は新しい作業棟の建設が進んでいます。施設の変遷と

ともに、自身も年を重ねてきたことを実感しています。更に私事ですが、令和7年7月7日に息子が入籍し、公私とも多忙な日々を過ごしています。

私自身、この33年間、児童施設から成人施設、就労継続B型、就労移行、成人施設、相談支援と様々な部署で働いてきましたが、その中で一番思い出深いのは工房みさきで勤めた10年間です。当時はパンの責任者を任され、ひたすらパンを焼き続け販売していました。私自身あまり人とコミュニケーションをとることが得意ではなく、人の顔と名前を覚えるのも苦手でしたが、イベントやサロン、そして店舗などを通じて様々なお客様と巡り合うことができました。

阪南市の保育所にパンを納品していた頃のことです。現在愛の家で働いているスタッフの弟さんが当時そのパンを食べてい



たそうで、余った時は取り合いになるほど喜んでいたというエピソードを聞いたときは、嬉しく、懐かしく、そして誇らしい気持ちになりました。

現在は相談支援員として、これまでの経験を活かしながら75名の方と契約し、支援を行っています。利用者さんのことを最優先にこれからも頑張っていきたいと思っておりますので、引き続きご支援宜しくお願いいたします。



あいハート須磨

2025年 七夕

特養介護スタッフ

大西 悠衣香

私は、あいハート須磨に就職して、まだ1年も経っておらず、この七夕が初めての行事担当となりました。準備として、まず利用者さん全員に短冊に願い事を書いていただきました。その際、普段は忙しい業務のなかで、あまり聞くことなかった利用者様の思いや願いを知ることができ、とても貴重な機会になりました。

願い事は、「健康・平和・長生き」



が多いのかなと思っていたのですが、意外にも「痛い所が治りますように」や「焼きそばと焼き飯が食べたい」など、私たちにとっては当たり前のことも利用者様には大切な願い事になるのだと、気付かされる場面もありました。また、「家族が健康で…」という願い事も多く、ご家族思いの素敵なお母様だったのだろうと感じました。また、動かしにくい手で、真剣にペンを握って書く姿もとても印象的でした。

笹は、近くのお寺から立派なものをいただき、業務の合間にお世話好きな利用者様と一緒に飾り付けを行いました。用意した飾りを見て「上手、可愛い」とたくさん褒めの言葉をいただき、とても嬉しかったです。笹にくったり、こよりを通したりと、準備も順調に進みました。

お昼ご飯は、豪華なちらし寿司が出て、普段とは違う食事に利用者様



も大変喜ばれていました。

今回、短冊作りを一緒にしてみ、普段からもっとコミュニケーションを取るこの大切さを改めて感じました。日常生活の中で「何を望んでいるのか」「何を好まれているのか」を知ることが出来たら、より良い関わりができると思います。今回の七夕行事は、とても良い経験となったと感じています。



あいハート須磨 開設30周年事業実施に向けて

事業推進担当主任

黒木 涼太

あいハート須磨は2025年3月28日に開設30周年を迎えました。今年の1月に周年記念事業実行委員会を発足し、記念事業の企画・実行に向けた検討を開始しました。メンバーは勤続年数に関わらず各部門から1〜2名選出し、月に2回の頻度で集まり、検討を重ねておりました。

第1回の委員会では周年記念事業の実施に向け、まずは目的やテーマ、コンセプト、対象者の設定等を明確にし、委員会メンバー内の認識を合わせながら進めていきました。設定したテーマは「感謝と結実」、コンセプトは「あいハート須磨が30年事業継続できたことへの感謝を、あいハート須磨に関わる全ての方々に伝えるとともに、この節目を契機として職員一丸となって周年事業を成功させる。」としました。

第2回以降は、具体的な事業内容について検討を進め、職員、ご入居者、ご家族、NTT労組関西総支部、

NTT労組退職者の会、地域関係者の皆様に向けたイベントを企画しました。具体的には、関係者の皆様に日頃の感謝の気持ちを伝える場として、『感謝祭』を9月14日(日)に開催することとなりました。

内容としては、来賓の方をお迎えしてのオープニングセレモニーをはじめ、カレーや唐揚げ、たこ焼きなどを用意した食事イベント、NTT西日本大阪吹奏楽団による演奏会を企画しております。また、職員によるソーラン節の披露も決定し、7月から練習に励んでいます。



開催にあたり、NTT労組関西総支部、実習生を受け入れている学校に対して、ボランティアを依頼したところ、総勢70名を超えるご参加のお返事をいただきました。心より感謝申し上げます。

ここ数年はコロナ禍の影響で夏祭りなど大規模なイベントを開催できませんでした。今回は30周年にふさわしい盛大なイベントとして、皆様とともに大いに盛り上げていきたいと思っています。

次号の「愛&ハート」は、あいハート須磨30周年記念号として、感謝祭当日の様子も発信しますので、どうぞご期待ください。

あいハート離宮前

「納涼祭」

■介護スタッフ 竹内 千香

準備も着々と進み、祭りばやしのBGMは約1か月前から流して徐々に雰囲気盛り上げ、いよいよ開始のご挨拶！...と思いきや、直前に急遽職員のコロナ感染の連絡。

開催中止かと思われましたが、フロアを分けて、屋台は各階で...となんとか開催にこぎつけ、2025年あいハート離宮前「納涼祭」がスタートしました。

皆さんには、法被を着て頂き、男性の利用者の方は頭に豆絞りを巻き、中々かつこよく気分も上々で、とても喜んでおられました。

ゲームコーナーは輪投げに魚釣り、射的もあり、射的の的は施設長に三人の主任！楽しい豪華景品もあって中々の盛り上がりでした。特に射的は難しかったつもりでしたが、皆さんお上手で次々と豪華



賞品をゲットされていました。惜しくも外された方は昔懐かしい島田のラムネでした。魚釣りは中々釣れずに難しいようでしたが、一生懸命に釣っておられました。輪投げも皆さんお上手で、景品は輪が入った数にに応じていろんな味のうまい棒をご自分で選んでいただきました。

2部制にした事でゲームもゆったりと楽しめ、混雑も少なく、今後の課題も見えてきました。

お食事は屋台メニューで、焼きそば・たこ焼き・チーズボールに焼売、デザートにはフルーツポンチもあり

り盛りだくさんでした。屋台気分をあまり味わうことが出来ませんでしたが、焼きそばやたこ焼きは皆さんに大変好評でした。

午後には女性職員による神輿の練り歩き！ワッショイ♡ワッショイ♡の掛け声に皆さん大はしゃぎで喜んでいただきました。

予定とは違う納涼祭にはなりましたが、皆さんに喜んで頂けて安心しました。あいハート離宮前での納涼祭を担当するのは初めてで、トラブルもありましたが、なんとか無事に納涼祭を終えることが出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです！
来年はより安全でもっと楽しめる納涼祭を開催できるように頑張ります♡



脳リハWebサイトリニューアル！

脳梗塞リハビリステーション神戸須磨は、開設から5年を経過し、このたび公式Webサイトを刷新いたしました。

当施設は、脳梗塞や脳出血などの脳血管障害による後遺症をお持ちの方々に専門的なリハビリを提供し、技術力は高くご評価いただいております。身体機能のリハビリに加え、言語リハビリや後遺症をお持ちの方向けのヨガ教室など、多様なプログラムを展開し



ています。

新しいWebサイトでは、利用者の皆様にとって分かりやすく利便性の高い情報をお届けするとともに、施設の特徴や取り組みを幅広く発信し、ブランドイメージの向上を図ってまいります。

今後も地域の皆様から信頼される施設を目指し、より一層のサービス充実に努めてまいります。



Webサイト <https://noureha-kobesuma.jp/>

Instagram https://www.instagram.com/noureha_kobe_suma/

次世代に向けた一歩

副理事長 森本 光弘

入社した頃からの目標の一つである「施設職員からの施設長・副施設長登用」が、この度ついに実現しました。これは、当法人が長年目指してきた運営体制の進化であり、また現場で日々努力を重ねてきた職員の皆さんの誇りとなる出来事でもあります。社会福祉法人の世界では、いわゆる同族経営が少なくありません。設立者やその親族が理事や施設長を務める事例は多く、それ自体は法人の理念や一貫性を保つうえで一定の役割を果たすことができますが、組織の硬直化や人材登用の幅の狭さといった課題が生じる場合もあります。そのような中で、今回のように現場で長年勤務してきた職員から施設長を登用することは、「努力すれば現場からでもトップを目指せる」という開かれた人事制度を持った法人であることや、法人運営の透明性や公平性を証明するうえで大きな意義があります。

これまで、当法人の施設長職は、N T T労組のOBや他業種での経験を積まれた方々が担ってこられました。福祉業界ではない外部から

の知見や発想は、私たちの事業を大きく成長させる原動力となり、多くの成果をもたらしてきました。しかしながら、障害者福祉や高齢者福祉を取り巻く環境の変化は激しく、利用者やご家族のニーズも高度化かつ多様化しています。こうした中で、現場経験を持つ人材が施設経営のリーダーとなることの必要性は、年々大きくなっていました。

今回、4月にあいハート須磨の施設長、6月に愛の家の施設長を交代し、あいハート須磨ではこれまでにない役割を担った副施設長を配置しました。それぞれ、高齢者福祉や障害者福祉の現場で長年にわたり経験を積み、利用者一人ひとりの生活や想いに寄り添いながら、チームをまとめてきた人物です。制度の理解に加え、利用者支援の難しさや喜びを経験したリーダーが施設運営のトップに立つことで、私たちのサービスはより専門性を深めたものへと進化していくと確信しています。

近年、社会全体で管理職に対する敬遠傾向が強まっており、当法人でも同様の状態にあります。責任の重さや業務量の多さに比べ、やりがいや評価が十分に伝わっていないことが主な要因であると考えていますが、この流れを放置

すれば、将来の管理職候補が育たず、法人の持続的成長が難しくなります。現場で働く職員が「いつか自分も管理職を担いたい」と思えるような環境づくりが求められており、人材不足・確保に並ぶ重要課題であると認識しています。

今後、管理職の業務の適正化や処遇改善を目指すとともに、管理職としてのやりがいや達成感を共有することで、漠然とした不安や拒否感の払拭が必要と考えています。今回の施設長・副施設長人事を機に、管理職が「大変そう」ではなく、「やりがいがあり、自分も挑戦したい」と感じられる組織風土を醸成し、多くの職員が自分の成長とキャリアに希望を持てる組織づくりを目指していきたいと思えます。



御寄附について

日頃より当法人に対し、寄附金やボランティア等のご支援を賜り、誠にありがとうございます。
昨年度も、NTT労働組合様による後援会活動の取組をはじめ、退職者の会大阪支部協議会様による「愛のカンパ」、NTTグループ各社様のマッチングギフト等、多くの団体・個人の皆さまから、総額26,640,801円(2024年度)の寄附金ならびに寄贈品を頂戴いたしました。

寄付者	寄付金額
NTT労組 後援会様	20,584,932
NTT退職者の会大阪支部様(愛のカンパ)	260,500
NTTグループ会社様(マッチングギフト)	3,012,000
その他(NTT労組関連様)	1,345,000
その他(各企業、個人様)	1,438,369
寄付金合計	26,640,801

改めまして、ご寄付を頂戴しましたNTT労働組合各分会をはじめ、NTTグループ各社他、全てのみなさまに感謝申し上げます。

理事長 橋本 寿樹

【寄付金のお振込口座のご案内】

金融機関名	近畿労働金庫 梅田支店	みずほ銀行 堂島支店	ゆうちょ銀行	三菱UFJ銀行 野田支店
店番号	582	507	—	059
口座番号	9006617	1254625	00900-9-320887	0243064
口座名	社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団「フク」ゼンデンツウキンキシャカイフクシジギョウダン			

留意事項

※インターネットバンキングをご利用の場合、振込手数料は発生しません。

※寄付金口座への直接振込みの場合、寄付目的は「使用目的は法人に一任」といたします。

※領収書を希望される場合は、①名前、②住所、③電話番号、④振込日、⑤振込銀行名、⑥金額をメールまたは郵送、FAXでお知らせください。後日、郵送にて領収書を送付いたします。

ご支援をくださった方々

《8月》

寄付金

あいハート離宮前ご入居者 様
荒木 温子 様

寄贈品

二宮 幸之助 様 (計3件)

ありがとう
ございます



「皆様の声」受付窓口

全電通近畿社会福祉事業団では、社会福祉法第82条の規定に基づき、利用者家族の皆様等から「苦情」やご意見に適切にお応えするための体制をとっています。面接・電話・書面等のようなかたちでも結構ですので、遠慮なく、お気軽にお申し出ください。

- 愛の家 072-494-0123
- あいハート須磨 078-737-2525
- あいハート離宮前 078-731-2130
- 法人本部 06-6458-5723

【発行】

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団
〒553-0003 大阪市福島区福島 3-1-73
TEL 06-6458-5723
Website <https://www.zendentu-kinki.jp>
Facebook <http://www.facebook.com/zendentukinki>
E-mail jigyodan@silver.ocn.ne.jp

【発行人】

理事長 橋本 寿樹

